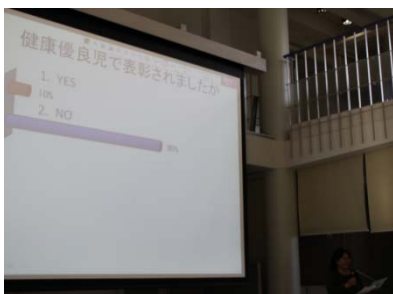


【報告】 3 月 25 日に「学びのコミュニティ」特別授業を行いました！

初めての試みに、地域社会人、学生、教員及び事務職員、合わせて 26 名が参加してくださいました。この取り組みで、たくさんの機器を購入、会場となった 3 号館 1 階スタジオには迫力あるプロジェクターが設置されました。大画面に映し出された映像を見ながら、授業が進められました。数ある機器の中から、今回はクリッカー（TurningPoint ARS）について、KEEPAD JAPAN 社 山川達也氏をお招きして説明して頂きました。クリッカーとは、参加者の意見や反応を瞬時に集計、グラフ化することの出来るシステムで、参加者の声が直接的にリアルタイムでビジュアル化することが可能です。今回、参加者にレスポンス・カードが配られ、実際に体験しながらの説明には、興味を持たれた方も多く、質問がたくさん寄せられました。こちらのレスポンス・カードは 300 台ございますので、大規模授業でも使って頂けます。ぜひ、授業に取り入れて使って頂けたらと思います。



また、このクリッカーを使いながら、中恵真理子特任助教が、初めてひとりで授業を

行うことに挑戦しました。“とても緊張した”とのことでしたが、「健康観でみる時代の変化」とのテーマで 15 分強の授業を展開しました。まとめて、クリッカーは、単に結果を示すだけでなく、その結果をもとに意義ある討論をすることが必要なのではないか、との提言がありました。

最後に、伏見賢一准教授による「アクティブラーニングから宇宙を探る」をテーマにお話が



あり、実際に新しく 5 号館屋上に設置された、天体観測室と天体望遠鏡を見学に出掛けました。天体観測室は、スライディングルーフになっており、平行に開きます。こちらもどんどん有効活用して頂けたらと思います。満天の星空、ぜひ観てみたいものです。

～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～

“学びのコミュニティ”に関するお問い合わせ、学習に関する相談は下記までどうぞ。常時教員が在室しております。

【学生支援室】 4 号館 1 階 旧学生相談室

★電話：088-656-7205

★URL：<http://w3.ias.tokushima-u.ac.jp/sgp/>

## 【報告】生涯学習についての講演会がありましたので、内容をご紹介します。

去る3月5日、開放実践センターにおいて廣渡先生の企画で、八洲学園大学の浅井経子教授の講演会があった。演題は『生涯学習支援の新たな課題』として、文科省による生涯学習政策についての枠組みを国の次元、社会の次元、個人の次元から、非常に奥行きのある話を聞くことが出来た。

私たちの関心とつながる観点からかいつまんで、紹介する。生涯学習社会の条件として、1. 学習機会選択支援（学習支援情報提供システムの構築、学習相談体制の整備等）、2. 学習機会の提供（学習場所の提供、講座や学習プログラムやコンテンツの提供等）、3. 学習成果の評価サービスの提供と活用支援がある。国はこれまで、1と2について重点的な支援を行ってきたが、超高齢化社会の時代を迎えて、人材の育成の必要から、単なる個人の楽しみ生涯学習に終わらせるのではなく、3の次元を充実させていくことがこれからの課題として注目されているという。

そこで、国はどこを焦点に活用支援をしていくべきかという私的生活（生きがいの追求や自分の学習活動や日常生活で生かす）や他者のために私的生活で生かす（家族の健康のための食事作り）ためのものではなく、自分のために社会で生かす（就職・転職・キャリアアップ）や他者のために社会で生かす（ボランティア活

動）などにまわすべきだと考えているという。また生涯学習の種類で支援の対象でいえば、体験に含まれる学習（社会経験や育児経験）は、古びていく可能性があるのだから、探求に含まれる学習（読書、自分で研究、資格・免許を取得した学習）にまわすべきだと考えているという。

学びのコミュニティーの次元で考えると、探求に含まれる学習も含めて、社会人を『体験者＝学習者』としつつ、授業という場で生かしてほしいという観点からなされている。こうしたある目的に沿った学習のみを期待するのではない、幅広い学習の質に焦点を当てた試みは、新しい人材育成と人材活用がなされているように思われる。

講演のあとの夕食会のとき浅井教授と学びのコミュニティーについて親しく懇談することが出来た。そこで2点、学生の教養教育は生涯学習の入り口と捉えることが出来ること、社会人ボランティアの活用は、まさにこれから国が生かす場の構築を課題としている中で、非常に先進的な試みであるということで、一致した。体験というものをどのように具体的に評価し位置づけていくかを考えていくことがこれからの課題であるといえよう。（中恵真理子）

## ～編集後記～

たくさん購入した機器も、図書も、みなさんに有効活用して頂いてこそ価値があります。スタジオも機材が整って、設備が充実しました。授業はもちろんのこと、学内での様々な活動に利用して頂けたらと思います。使用されたい方は、学生支援室へお声をお掛け下さい。

いよいよ新年度が始まります。徳島の桜は今まさに見頃。美しい桜の花を愛でながら、新しい学びの一步を踏み出していきたいです。（境）

